

## 「確かな教え」

ルカの福音書1章1～4節

1

私たちの間で成し遂げられた事柄については、初めからの目撃者で、みことばに仕える者となった人たちが私たちに伝えたとおりのことを、多くの人がまとめて書き上げようとすでに試みしています。

私も、すべてのことを初めから綿密に調べていますから、尊敬するテオフィロ様、あなたのために、順序立てて書いて差し上げるのがよいと思います。

それによって、すでにお受けになった教えが確かであることを、あなたによく分かっていただきたいと思います。 ルカ1:1-4

2

## 神は歴史の主

- 当時の歴史書と同じ形式の書き出し
- ヨセフスの献辞「エパフロディトス閣下、、、」（アピオンへの反論）
- ルカは歴史の中でなされた神のわざについて語り、**神が歴史を支配する主**であることを示している。
- イザヤ44章「**わたしは初めであり終わりである**」
- BCとADという歴史の区切り

3

## 神は歴史の主

神は私たちを救い、また、聖なる招きをもって召していただきましたが、それは私たちの働きによるのではなく、**ご自分の計画**と恵みによるものでした。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに**永遠の昔に与えられ**、今、私たちの救い**主キリスト・イエスの現れによって明らかに**されました。キリストは死を滅ぼし、福音によって**いのちと不滅を明らかに**示されたのです。

2テモテ1:9-10

4

## 確かな福音

- 「**初めからの目撃者**で、みことばに仕える者となった人たちの証言
- 初めからあったもの、**私たちが聞いたもの、自分の目で見たもの、じっと見つめ、自分の手でさわったもの**、すなわち、いのちの**ことば**について。1:2 このいのちが現れました。御父とともにあり、私たちに現れたこの永遠のいのちを、**私たちは見たので証して、あなたがたに伝えます**。 1ヨハネ1:1-2

5

## 確かな福音

- この救いは、**初めに主によって語られ、それを聞いた人たちが確かなものとして私たちに示した**ものです。そのうえ**神も**、しるしと不思議と様々な力あるわざにより、また、みこころにしたがって**聖霊が分け与えてくださる賜物**によって、救いを証してくださいました。

ヘブル2:3-4

- 聖書の「監修者」は聖霊(神) 2テモテ3:16

6

### 確かな福音

- 「初めからの目撃者で、**みことばに仕える者となった**人たち」
- 仕える人と使う人は違う
- その手紙でパウロは、ほかのすべての手紙でもしているように、このことについて語っています。その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、**聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます。** 2<sup>テ</sup>3:16

7

### 確かな教え

- **尊敬するテオフィロ様**
- **総督閣下**、使徒23:26、24:2、26:25
- 社会的地位、それに伴う財力があつた(発行人、後援者となった?)
- 求道者? クリスマン? ルカの内容は信仰の成長を助けるもの。弟子訓練のためのもの。

8

### 確かな教え

- 綿密な調査 (医者教育と訓練)
- 順序立てて分かりやすく
- 確かなことを確かに(口伝えから文書へ)
- 繰り返し学び、確認できる。
- 成長のために難しいところもある(乳と固い食物) <sup>ヘブル</sup>5:12-14

9

### 確かな教え

- 確かな信仰の土台は確かな教え(みことば)、その「要の石」はイエス・キリスト。1<sup>ペ</sup>2:20
- 私たちが持っているこの希望は、**安全で確かな、たましいの錨のようなもの**であり、また幕の内側にまで入って行くものです。 <sup>ヘブル</sup>6:19

10

### 確かな教え

- 聖書は神と人間の共同作業
- 神は不完全なものを完全に使うことができる
- クリスマン生活も神との共同作業
- 医者であるルカは医学よりも素晴らしいものを見つけた。罪という不治の病をいやすことが出来る「偉大な医者であるイエス・キリスト」
- 福音は確かな教え。どんな嵐にも耐えられる錨(いかり)。確かな方とのつながり。
- 歴史を導くことが出来る主は私たちの人生を導くことができる

11

### 確かな教え

- 科学よりも素晴らしいものを見つけた科学者



- フランシス・コリンズ博士
- アメリカ国立衛生研究所長

12